

広島県中小企業団体中央会 2014年8月分情報連絡一覧表

(食料品)

●食料品

中国醤油醸造協同組合

8月の出荷量は前月比18.4%減少、前年同月比5.2%増加、売上高は前月比19.7%減少、前年同月比2.6%増加となった。

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

平成26年7月の全国新設住宅着工数は、72,880戸（前年同月比14.1%減少）、利用関係別にみると、持家は23,524戸で前年同月25.3%減少、分譲住宅は20,042戸で前年同月7.7%減少、貸家は28,623戸で前年同月7.7%減少となった。木造住宅着工数は、40,631戸で前年同月12.7%減少となった。

住宅着工の動向については、消費マインドの改善等もあり堅調に推移してきたが、消費税率の引上げに伴う駆け込み需要の反動もあり、実数では前年同月より減少している。

今後の先行きは、雇用・所得環境の推移、東日本大震災からの復興状況、建設労働者の需給状況、住宅ローン金利の動向等から引き続き慎重に見極める必要がある。

広島県内の着工数は1,205戸で前年同月26.7%の減少となった。その内訳としては、持家が456戸で前年同月19.4%の減少で、貸家が409戸で前年同月26.6%の減少、また分譲が339戸で前年同月34.9%の減少となった。

(印刷)

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

このたびの土砂災害により、工場に土砂が入り印刷機械などに被害が出た組合員が1社あった。

(化学・ゴム)

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

8月の売上は稼働日数の減少により、売上は全体的に減少傾向であった。

自動車関連は、新車立ち上がりに伴い、今後は全体的に売上微増が予測される。

最近、円安の傾向にあり、原材料等の値上げが懸念される。そのため、経営環境は厳しい。更なるコスト改善への取組みが各社求められている。

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況（24工場）

26年8月 2,669 m³（対前年比27.8%減少）

26年7月 3,444 m³

25年8月 3,680 m³

天候不順及び広島市安佐南区、安佐北区における土砂災害等の影響により、対前年比大幅な減少となった。

(一般機器)

●一般機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合

8月は前月比2%減少、前年同月比2%増加となった。

●一般機械器具

協同組合三菱広島協力会

広島県西部地区においては、前月同様、コンプレッサー関連及び航空機関係が高操業で、その他の業種については低操業の状況が続いている。それに伴い、協力会社各社は高操業から低操業へ仕事の融通で平均化に努力している。

(電気機器)

●電気機械器具

(電気) 広島県東部機械金属工業協同組合

お盆による大型連休があるため、前月より売上が下がっており、前月比10%減少、前年同月比は変化なしとなった。

人の集まりがよくない。特にパートタイマーの集まりが悪い。最低賃金が高すぎてコスト面で非常に圧迫感がある。コストダウン要求が厳しく、収益面は苦しい。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具(造船)

中国地区造船協議会

中手・大手の2,500総トン以上の平成26年8月分の建造許可は5隻188,700総トン(前月5隻、157,700総トン、前年同月6隻359,625総トン)であった。なお、5隻の内訳は、全て貨物船で輸出船である。

業況については、全般的に人手不足となっている。

●輸送用機械器具(造船)

(社)中国小型船舶工業会

中小造船業については、少しずつ受注がでてきている。

●輸送用機械器具(造船関連団地)

呉鉄工業団地協同組合

原材料の高騰により、収益性が悪化している。

●輸送用機械器具（自動車）

東友会協同組合

8月の国内自動車販売台数は全需が333千台、前年同月比9.1%減少と2ヶ月連続の前年割れとなった。登録車は前年比5.0%減少と2ヶ月振りの前年割れ、軽自動車は15.1%減少の2ヶ月連続の前年割れとなった。

マツダ車は15.8%減少と5ヶ月連続で大幅な前年割れとなった。

アメリカの7月の全需は1,435千台で前年同月比9.1%の増加。マツダ車も同17.1%増加と5ヶ月連続の前年超えとなった。

欧州の7月の全需は1,307千台で、前年同月比1.9%増加。マツダ車も同13.4%増加と好調で15ヶ月連続の前年超えとなった。

中国の7月の全需は1,692千台で、前年同月比11.6%増加。マツダ車の販売は36.4%増加と5ヶ月連続の前年超えとなった。

上記各地域の状況下、マツダ車の7月の海外販売合計台数は97千台、前年同月比12.6%で13ヶ月連続の前年越えとなった。

マツダは欧州向けの輸出が継続して好調で、前年比88.1%と大幅に増加、輸出全体でも7.6%増加と2ヶ月連続の前年越えとなった。

マツダの7月の国内生産台数は、前年同月比5.9%減少となり、5ヶ月振りに前年割れとなった。

（その他）

●家具・装備品

広島家具工業協同組合

7月に引き続き8月の受注も前年同月比90%前後で推移している。引き続き厳しい状況が続いている。

8月の広島での土砂災害以降、受注が落ち込んでいるようである。9月以降は各社とも受注が上向きよう企画しているようである。

今回の土砂災害では、組合員においては2社ほど若干被害があったが、半日ほどで復旧した。しかし、従業員の方は通勤に苦労されたようである。

（卸売業）

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

8月は、台風・豪雨・長雨と日照時間が少なく、夏らしくない天候により、個人消費は冷え込んだ。一方、石油製品価格は高止まりが継続、運送コストも依然上昇中で、中小卸業者は売上・収益面ともに厳しい状況であった。

「資材関連」においては、住宅着工件数は頭打ち、マンション新築・リニューアルや福祉施設関連は順調に推移している。

「食品」においては、長雨や広島土砂災害による自粛ムードから、ホテル業他外食産業が低調である。食材・水物の売上は前年割れとなっている。

「繊維」においては、豪雨・悪天候の継続から平均気温が低く、夏物肌着は販売不振で、在庫過剰の状態である。秋冬物の仕入意欲も減退気味である。

「雑貨」においては、日用雑貨は長雨によりレジャー用品・殺虫剤等が例年の6、7割程度の売上であった。 Deng熱関連で、虫除けスプレー等の需要があるが、品不足の状態である。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

8月は、マンションの新築、リニューアル及び福祉施設は順調に推移している。広島県住宅着工データによると、平成26年6月の新築の持家、貸家の着工件数は前年同月比88.9%となっているため、9月～12月の仕上げ材料の減少が予想される。

今後の取組みとしては、景気に左右されないためにも、高付加価値商品の普及とリニューアル提案を粘り強く推進していくことが大切である。

●卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

8月は異常気象の影響により、国内産畳表は低調、新口の畳表の製織も遅れ気味である。価格は高値横ばいの状況で推移しており、販売も目立った消費もなく、低調に推移している。

一方、新藁草を織り込んだ商品は、秋の展示会に向けフル稼働の状況である。また、需要が期待できる

中国産畳表では、四川や寧波(ニンポー)では販売価格は高値を期待している。全般的に高値で推移しそうである。

（小売業）

●各種商品小売業

協同組合三次ショッピングセンター

毎月3～4%の客数ダウンが続いている。経営支援制度を活用し、専門家の意見を聞き、来店客数の維持に取り組んでいる。三次市では販売員の人手不足により、十分な商売が出来ていない。

●各種商品小売業

チューリップチェーン商業協同組合

8月の売上は、前月比、前年同月比共に大幅に減少した。大きな要因としては、天候不順が考えられる。台風11号の襲来以降も曇天が続き、全体的に来店客数が減少し、売上も減少した。盆期に限っては中山間部の店舗にとっては曇天が幸いし、天候不順のため、車で街へ行かず、地元での買い物客が増加した。

しかし、雨天が続いたことで、墓参りをされる方が減少し、仏花系の売上は減少した。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

8月度の販売実績は前年同月比12.5%減少となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比10.3%減少、BDレコーダー同14.7%減少、音響・車載機器同15.2%減少、冷蔵庫同17.5%減少、洗濯機同17.6%減少、エアコン同21.2%減少、エコキュート同11.0%減少、IHクッキングヒーター同11.1%減少となった。全商品とも前月より下降しており、長期の天候不良により客数減となった。冷夏でエアコン、冷蔵庫が伸び悩んでいる。

(商店街)

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

天候不順による行事の中止・縮小や消費税増税が影響し、売上は減少した。

フラワー通りの清掃、美化などの活動が評価され、呉本通商店街振興組合女性部（はなみずき会）が国土交通省中国地方整備局から表彰されることとなった。

●商店街（各種商品小売業）

広島金座街商店街振興組合

天候不順により、売上が減少した。

(サービス業)

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比 13.7%減少、前年同月比 3.6%減少。車検場収入は前月比 13.7%減少、前年同月比 3.3%

減少。重量税・登録印紙の売上は前月比 23.6%減少、前年同月比 4.6%減少となっている。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

一部大型ショッピングセンター(隣接県)工事の影響もあり、やや好況である。

●情報サービス

(社) 広島県情報産業協会

売上及び収益状況は横ばいの状況であり、下期の景気動向が気になるところである。このたびの広島土砂災害により多くの命と被害を被り、今後の復旧を懸念するところである。

(建設業)

●工事業

神辺建設業協同組合

公共投資において、上半期の大型工事の発注が見られ、中小企業向け案件の発注も前年度並みに推移しており、各社受注に向けて意欲的である。しかし、生コンクリートやコンクリート二次製品を中心に設計価格と実勢価格にまだ開きが見られるため、見直しが求められる。

●工事業

福山地区電気工事業協同組合

8月における工事受注件数は前月比 39.5%減少、前年同月比 25.3%減少となった。

政府のデフレ対策で金融緩和が続いている。そのため、消費者物価は堅調に上昇しており、中小企業の一部は賃上げを行っていることは承知している。

しかし、7割近い中小企業は賃上げをする余力もないのが現状である。我々電気工事業界の工事会社は、一時金が出る会社も一部に限られている。住宅業界不振をバックアップするためにも、公共工事の前倒し(学校の耐震工事等)、早期予算執行をお願いしたい。

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

8月の売上について前月比23%減少、前年同月比2%増加となっており、前月比の落ち込みは大きいですが、累計前年比では6%増加で推移している。

前月比で見るとカーテン工事は45%減少、敷物47%減少と大きな落ち込みがあった。壁装工事は2%減少とほぼ横ばいである。

前年同月比ではカーテン工事は12%減少とやや落ち込み、敷物は66%減少と大幅な落ち込みであった。壁装工事は前年同月比20%増加となっている。

内装業界では、特に若い技能士不足が顕著であり、今後技能士育成が大きな課題であり、深刻な問題である。

(運輸業)

●道路貨物運送業

広島輸送ターミナル協同組合

ガソリン価格は値下がりしてきたが、軽油価格は下げ渋っている。ドライバー不足が目立ってきている。

●道路貨物運送業

広島県ロジネット協同組合

8月は前年同月比10%増加と全体を通じて貨物量は安定している。荷動きは昨年と同様に第一週のお盆前に荷物量はピークを迎え、中旬以降から下旬にかけてなだらかに下がっていくという推移を見せた。

今年の大雨、台風等の自然災害は、物流にも少なからず影響を与えたようである。いずれにしても物資の流れは止められないため、トラック業界はその最前列での活動であり、社会的使命もある。

軽油価格は、今年にはじめてやや値下げ傾向で推移した。日本国内においては、今年国内タンクの定期点検の年となっているため、在庫確保が難しい状況であると言われていたが、2円/L近く下がったことにより、今後の動向に注目したい。

●道路貨物運送業

松永地区トラック事業協同組合

8月は冷夏となり、梅雨を思わせるような天候不順となったため、夏物商品が大幅に落ち込み、夏物家電や飲料などが低調となった。また大雨により、農産物にも影響が出ており、輸送貨物は昨年より大幅に減少した。

消費税増税の影響で個人消費が減少している状況は変わらず、加えて天候異常により、なお一層消費が減少していると思われる。

燃料の高騰も相変わらず厳しく、アベノミクスはどこかへいってしまったかのように思われる。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

燃料の高騰により燃料費のコストアップが続いている。船員の高齢化が進み、船員不足である。若年船員が育たない。運賃、用船料の改善が見られない。

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

8月も時節柄評価依頼も少なく、売上高等は減少し、業況は悪化している。前年同月比も特に変化はない。

今回の広島市土砂災害の被災地域について、今後の地価動向に十分注視するよう、国土交通省地価評価担当官から不動産鑑定士に通達があった。